

クイズで学ぼう！ 災害時の心得

もし、札幌で大地震が発生したら、私たちはどのように行動すればよいのでしょうか。

また、地震による被害を少しでも減らすためには、どのような備えが必要でしょうか。

そんな災害時の心得をクイズ形式で紹介します。正しい知識を学んで自分の身を守りましょう。

クイズ

の前に、地震に関するキーワードを説明します。

【マグニチュード】地震エネルギーの大きさを示します。数値が大きいほど規模が大きい地震です。

【震度】ある地点での揺れの強弱を表す数値です。震度0～4、5弱、5強、6弱、6強、7の10段階で表します。

【緊急地震速報】予測される最大震度が5弱以上の場合、震度4以上の揺れが予想される地域に発表されます（震源が近いと間に合わない場合もあります）。速報が発せられ

たときは、周囲に知らせるとともに身を守る動作を取りましょう。

【ライフライン】電気・ガス・水道といった、生活に欠かせないもののことです。災害時は、停電や断水の復旧に時間を要し、不自由な生活が続く可能性があります。

【耐震化】建物が地震で倒壊・損壊しないよう補強することを行います。市では、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された木造住宅や分譲マンションなどの建物の耐震診断などに補助をしています。リフォームの際は建物の耐震化も考えてみませんか。

震度6弱



震度5弱



震度6強～7



震度5強



強い 地震が実際に発生した場合、どのような状態になるのでしょうか（「氣象庁震度階級関連解説表」より）。

○震度5弱 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

○震度5強 大半の人が、物につかまらなないと歩くことが難しい。

○震度6弱 立っていることが困難になる。

○震度6強～7 立っていることができず、這わないと動くことができない。

クイズで学ぶ①～地震発生時

これから震度6強の地震が発生したと想定して、クイズを解いていきましょう。

ある休日の夕方…

私は居間のテレビで野球観戦、妻は台所で夕食の支度をしていました。

その時突然テレビから緊急地震速報が流れました！



Q1 緊急地震速報を見聞きしたときはどうすればよいでしょうか。

- a 大声で家族に知らせる
- b 静かにテレビに注目する
- c 深呼吸して落ち着く

A1 a 緊急地震速報が出た後、地震が到着するまでわずかな時間しかありません。まずは揺れが来ることを大きな声で家族に知らせましょう。そして速やかに身を守る行動に移りましょう。

Q2 居間にいる私はどうすればよいのでしょうか。

- a じっと様子をうかがう
- b 窓辺でうずくまる
- c テーブルの下に入る

A2 c 窓ガラスが割れる恐れがあるので窓辺から早く離れ、テーブルの下などに入り身を守りましょう。揺れが大きいと体がすくむ場合がありますが、一瞬の反応が生死の分かれ道です。

Q3 台所にいる妻はどうすればよいでしょうか。

- a まずコンロの火を消す
- b 食卓テーブルの下へ
- c 消火器の準備をする



A3 a 調理中の場合にはまず火を消しましょう。ただし、コンロから離れているときはやけどをしないよう身を守ることを優先させましょう。なお、ガスは、震度5弱以上の揺れを感知すると自動的に止まります。